

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-132	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家基 006-901	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、「Well-being（ウェルビーイング、身体的・精神的・社会的によい状態）の実現」をメインコンセプトとし、家庭科の学びを通して、生徒が自分の生き方を主体的に選択し、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会の豊かさにも貢献できるようになることを目標に編修しました。本文は、各単元の導入部に設けた3つの「STEP」と、各単元末に設けた「ふり返ろう」コーナーで、「体系的な学び」ができる構成にしました。ほかにも、実習解説、アクティブ・ラーニングができるワーク、デジタルコンテンツの活用などによる「実践的な学び」ができるコーナーやページも構成に含めました。

ほかにも、家庭科とSDGsとのかかわり、小学校と中学校の家庭科で学んだキーワードや他教科とのつながり、食・衣・住における伝統的な日本なども掲載しています。

### 【全体構成】

本書は、家族・家庭及び福祉に関するA編、衣食住にまつわるB編、消費生活・経済計画・環境にかかわるC編からなる3編と、生活設計、ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動、食品成分表で構成しました。A編の前とC編の後の章に生活設計を置き、一冊を通して生活設計について意識しながら家庭科を学習できるようにしました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Well-being マップ Well-being 人生すごろく SDGs と家庭科のつながりを考えよう 生活の課題を解決して Well-being を実現しよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ウェルビーイングを「将来設計」「社会」「お金」「健康」「つながり」の5つの要素に分類し、それらと家庭科の各学習領域とのつながりを表現しました。また、一人一人が「自分にとってどのような人生がウェルビーイングか」を考えられるようにしました（第1号）。</li> <li>•SDGs を教科書全体で扱い、口絵で大きく展開することで持続可能な社会への意識を高めることができる構成になっています（第4号）。</li> </ul>	口絵1-4  口絵5-6
生涯の生活設計1 ①自分の将来をイメージしよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ライフイベントについて考えさせる資料で多様な生き方があることを認識したり、目標の設定や計画の重要性を理解したりできるようにしています（第1号）。</li> <li>•自分のライフプランを考え、家庭科学習の最後にふり返る主体的な学びができるようにしました（第2号）。</li> </ul>	8-9頁  10頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>A編 第1章 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>18歳で成人を迎えることを踏まえ、C編 第1章と連携しながら、「自立したおとなになるとはどういうことか」を考えられるようにしました。また、家族の形や役割を考えさせる内容や、法律上の規定などについて掲載し、生徒が将来充実した家庭生活を送るための基本的な知識を得るとともに、家族やパートナーとともに生きることの意義が理解できるようにしています（第1号）。</li> <li>日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて、基礎をしっかりと扱い、青年期に考えるべき職業観を養うための工夫をしています（第2号、第3号）。</li> </ul>	<p>13 - 21 頁</p> <p>14 - 15 頁 24 - 25 頁</p>
<p>A編 第2章 子どもの生活と保育</p> <p>①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しく生まれる生命を身近に感じ、新生児の小ささを実感することができるように、等身大の赤ちゃんの写真や、ひとりの子どもの成長を追った月齢・年齢別の写真などを掲載しました（第4号）。</li> <li>抱っこや授乳、おむつ替えなど、将来子育てをする際に実践できる乳児の世話の仕方のほか、幼児とのかかわり方などを写真つきで詳しく解説しています（第1号）。</li> <li>これから子育てにかかわる世代になっていく生徒が、少子化や育児不安、仕事と子育てなど、保育に関するさまざまな問題について自分のこととして考えられるように、表現に留意しています（第3号）。</li> <li>日本や世界の子どもたちを取り巻く現状について考えることができる資料を掲載しました（第5号）。</li> </ul>	<p>折込1 - 4 32 - 33 頁</p> <p>38 - 39 頁</p> <p>40 - 45 頁</p> <p>44 - 45 頁</p>
<p>A編 第3章 高齢期の生活と福祉</p> <p>①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の生活が、年をとってからの健康の基礎になることを意識できるように、正しい知識を身につけ、健康のためにできることを考えられるように工夫しました（第1号）。</li> <li>現在の日本が直面している、超高齢社会についての正しい知識を身につけ、これからの福祉を維持していくために、主体的に社会の形成に参画することが大切であると意識できるように構成しています（第3号）。</li> </ul>	<p>48 - 53 頁</p> <p>54 - 57 頁</p>
<p>A編 第4章 共生社会と福祉</p> <p>①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会にはさまざまな立場や考え方の人がいることに気づき、私たちの生活が支え合いによって成り立っていることが理解できるように工夫しています（第3号）。</li> <li>社会保障の制度を支えているのは勤労世代であることを意識し、職業の大切さに気づくことができるように構成しています（第2号）。</li> </ul>	<p>60、64 - 65 頁 など</p> <p>61 - 63 頁</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
B編 第1章 食生活と健康 ①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の機能や、ライフステージごとに必要な栄養の特徴を詳しく解説しています。生活習慣病などを扱い、日々の食生活と、健康の関係について考えることができるように構成を工夫しています（第1号）。</li> <li>・調理実習において、主食であるごはんやお茶の淹れ方などをふり返り、改めて日本の食文化を認識できるように構成しています（第5号）。</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を中心に、郷土料理や行事食などを扱いました。生命を尊び、食卓に四季を取り入れてきた日本の優れた食文化を再認識することができます（第4号、第5号）。</li> </ul>	70－75頁  104－117頁など  122－123頁
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③衣服の計画・管理を知ろう ④今後の衣生活を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な衣服である和服について扱うことで、私たちの生活に根づいている日本の心を感じることができるように工夫しました（第5号）。</li> <li>・日々の健やかな生活のために必要な、衣服の入手、洗濯、手入れ、着用のしかた、廃棄に至るまでの基礎知識を、丁寧に解説しました（第2号）。</li> </ul>	128－129頁 133頁  136－143頁
B編 第3章 住生活と住環境 ①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適・安全に住もう ③持続可能な住まいのために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災についての知識や事故への備えなどについて具体的に扱い、健康・安全に暮らすための知識を身につけられるようにしました（第1号）。</li> <li>・自然を取り入れた古民家などの例と、これから先の未来の住まい方を両方扱い、持続可能な発展について考えることができるように工夫しました（第4号、第5号）。</li> <li>・まちづくりに参加する高校生の例を挙げることで、社会の一員としての自覚を持ち、積極的に地域にかかわる意識の基礎をつくれるようにしました（第3号）。</li> </ul>	159－160頁 162－163頁  164頁 166－167頁  165頁など
C編 第1章 消費生活と経済計画 ①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の扱い方、意思決定の方法、キャッシュレス決済、クレジットカードのしくみなど、情報化時代で自立するために必要な内容を多く取り扱いました（第2号）。</li> <li>・自らの消費行動が持続可能な社会につながっていることを知り、主体的に社会の形成にかかわることの重要性が意識できるようにしました（第3号）。</li> <li>・経済と家計の関係を扱い、社会の一員としての自覚が持てる内容を重視しました（第2号）。</li> <li>・家計の管理や経済計画の重要性を取り上げ、職業、生活との関係や、将来を自律性をもって考えられるようにしました（第2号）。</li> </ul>	172－177頁  182－183頁  184－185頁  186－191頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
C編 第2章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②持続可能な消費行動とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会の重要性を実感できるよう、現在問題となっているさまざまな環境問題と、そのための法制度について扱っています（第4号）。</li> <li>私たちの生活と環境のかかわりを理解するため、エシカル消費や持続可能な消費のあり方についてわかりやすく解説しています（第3号）。</li> </ul>	194－197頁  198－199頁
生涯の生活設計2 ① Well-being を実現しよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が「生活設計1」で考えた自分のライフプランを、これまでの家庭科学習を踏まえて見直し、より具体的な生活設計を立てるための資料を掲載し、自分の人生について主体的に考えられるようにしました。（第2号）。</li> </ul>	206－207頁
My Career（キャリアインタビュー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業や年齢の異なる人の生き方の例をインタビューとして示し、高校生が将来の働き方や家庭生活を想像する際に、人それぞれに多様な価値観があり、多様な生き方を尊重することが大切であると気づくことができるようにしました（第3号）。</li> </ul>	67頁 169頁 201頁
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの実践例 ・学校家庭クラブ活動の実践例	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家庭生活を見直し、見つかった課題の解決に向けて、計画、実践、評価する方法と、その実践例を紹介しています。ホームプロジェクトの経験を、学校や地域の課題解決に生かすことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことにつながるようにしました（第3号）。</li> </ul>	口絵8 208－213頁
食品成分表 食品成分表の見方		214－211頁
暮らしの中のマーク・ラベル ライフステージと法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの人生に必要な知識と教養を身につけられるように、生活情報や法制度を取り上げました。生活の中で必要な知識を身につけ、道徳心を養うことにつながる情報を掲載しました（第1号）。</li> </ul>	口絵12 口絵13－14

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルデザインフォントと、ユニバーサルデザインカラーを使用しました。図表なども、色弱の方にも見えやすいように配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。

図表や写真の内容をよりわかりやすく伝えるために、本文脇の側注スペースを広めに取り、見やすく配置し、豊富な資料を掲載することで、深い学びにつながるように配慮しました。

教科書の使い方を示し、明確でわかりやすい内容にしたことで、どのような先生・生徒でも取り扱いやすくなりました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-132	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
06 教図	家基 006-901	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎		

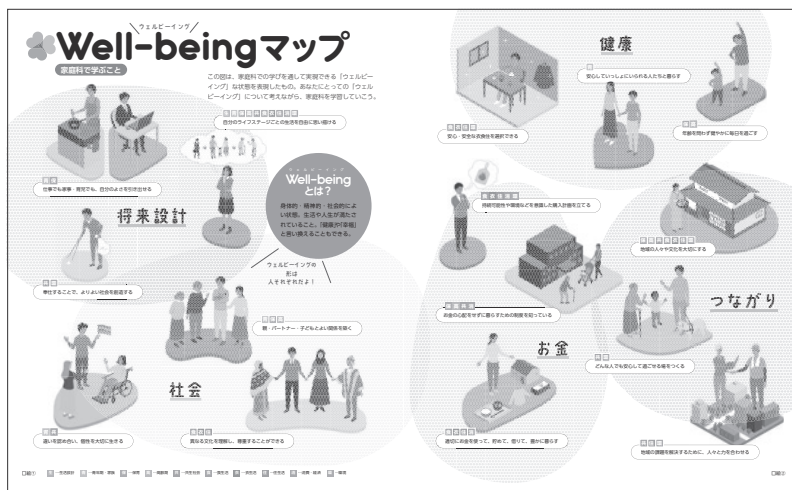
## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●メインコンセプトは「Well-beingの実現」

本教科書は、第4期（令和5～9年度）教育振興基本計画のコンセプトの一つである「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」に対応するため、**ウェルビーイングの実現**をメインコンセプトとしました。

ウェルビーイングとは**身体的・精神的・社会的によい状態**を指す、現代社会において重要視されている概念です。人とかかわり、衣食住、消費生活や金融などを教える家庭科教育は、私たちの生活のウェルビーイングにつながる教科といえます。

家庭科の学びを通して、生徒が自分の生き方を主体的に選択し、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会の豊かさにも貢献できるようになることを、本教科書は目指しています。



**Well-beingとは?**  
 身体的・精神的・社会的によい状態。生活や人生が満たされていること。「健康」や「幸福」と言い換えることもできる。

◀各章の学習内容が、どのようにウェルビーイングの実現にかかわるかを図解

### ▼生活をよりよくするための資料を厳選

### ▲家庭科とウェルビーイングとのつながりを表現した口絵



### ▲ウェルビーイングに関連する資料やコラム、ワークコーナーなどに「Well-beingマーク」を表示

### 1 Well-beingを実現しよう!

あなたにとって、誰か他人の**実現のために重要なものを5つ選ぼう。**

1-1 生活にヒントがある

これまでに学んできた種類の知識や考え方は、今後の生活に役立つものもある。役立つものは、身近な生活から始める。毎日の生活の中で、身のまわりのものを活用し、課題を解決していく。生活の中で活用できるすべてのものを、**生活資源**という。生活資源を有効に活用することは、人生を豊かにし、予想しなかった方法で解決できるものにもなる。

1-2 自分の生き方を設計しよう

これから人生を生きていく上で、意識するべきのが**ライフスタイル**である。ライフスタイルとは、日常生活で感じるさまざまな問題や課題に対して、建設的かつ効果的に対処するための必要な能力をいう。世界規模で**WYIO**（はちもん）も重要な能力として定義されている。

これらの能力は、社会の中で生きていくための大切なものでもあり、また、生活していくための糧として、訓練をすれば身につけられるものもある。

これらの意識は、将来どのような社会に生かされるかわからない。今から将来について考えておくことで、いざというときにあわせて対応することができる。自分の人生の目標や、自分らしいライフスタイル、それを支えるための生活資源などをテーマとして、これから人生を豊かに生きていこう。(p.100)

**COLUMN**  
**POSサイクルでよい生活を目指そう!**  
 毎日の生活資源を有効に活用し、POSサイクルを構築しよう。POSとは、Plan(計画)・Do(実行)・See(確認)の略で、よく知られたPDCAサイクルの一種である。Plan(計画)・Do(実行)・See(確認)の順に進めると、生活資源を有効に活用し、よい生活を実現できる。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

### 1-2 自分の生き方を設計しよう

これから人生を生きていく上で、意識するべきのが**ライフスタイル**である。ライフスタイルとは、日常生活で感じるさまざまな問題や課題に対して、建設的かつ効果的に対処するための必要な能力をいう。世界規模で**WYIO**（はちもん）も重要な能力として定義されている。

これらの能力は、社会の中で生きていくための大切なものでもあり、また、生活していくための糧として、訓練をすれば身につけられるものもある。

これらの意識は、将来どのような社会に生かされるかわからない。今から将来について考えておくことで、いざというときにあわせて対応することができる。自分の人生の目標や、自分らしいライフスタイル、それを支えるための生活資源などをテーマとして、これから人生を豊かに生きていこう。(p.100)

**COLUMN**  
**POSサイクルでよい生活を目指そう!**  
 毎日の生活資源を有効に活用し、POSサイクルを構築しよう。POSとは、Plan(計画)・Do(実行)・See(確認)の略で、よく知られたPDCAサイクルの一種である。Plan(計画)・Do(実行)・See(確認)の順に進めると、生活資源を有効に活用し、よい生活を実現できる。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

**実践したい目標**  
 500  
 毎日の生活資源を有効に活用し、よい生活を実現しよう。

## ●「体系的な学び」と「実践的な学び」

生活や社会の中から課題を見つけ、それに対して自分で考え、行動し、ふり返るといった一連のプロセスを通して、知識・技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を育む**体系的な学び**ができる構成にしました。

本教科書は、「体系的な学び」を実現できるよう、以下のような工夫をしています。

### ● 3つのステップとふり返りの構成で体系的に学ぶ

各単元の導入部に設けた3つの「STEP」で、その単元の学習の流れや目標を示しました。

各単元末に設けた「ふり返ろう」コーナーでは、5段階で達成度をチェックすることができます。

### ● ウェルビーイングを軸に家庭科を学習

各章のとびらや各単元の「私の Well-being」コーナーなど、随所にポイントや問いかけを示し、体系的に学びながらウェルビーイングの実現を目指せるようにしました。

<b>STEP 1</b>	🔍 家族関係の変化や、男女協力の課題に気づこう。	<b>STEP 2</b>	📖 家族や地域社会の協力の重要性を理解しよう。	<b>STEP 3</b>	👤 家庭・職業生活での意思決定を具体的に考えよう。
---------------	--------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------------------

▲ 3つのステップで「気づき→理解する→意思決定」「課題発見→学習→実践」など、学習の流れや目標がわかる

### 🗨️ ふり返ろう

達成度チェック	できなかった					よくできた				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●現在の日本の家族・家庭の変化とその課題について気づくことができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●男女共同参画に向けて、どのような意識・行動が必要になるかを考察できた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●ワーク・ライフ・バランスを保つこと、家族や地域社会の人々との協働の重要性を理解できた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

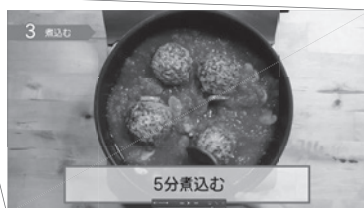
🌱 **私の Well-being** ▶ 自分の生活を豊かにするために、家庭や職業生活でどんな意思決定をするか、具体的に考えてみよう。

◀ 達成度をチェックし、自分の生活をよりよくする一歩を踏み出すための問いかけに答えて、学習をふり返る

学習を単なる知識の習得ではなく、自分の生活や社会に関連づけ、考えたり、話し合ったり、実行したりして、将来に役立つ能力や態度を身につける**実践的な学び**も構成に取り入れました。

本教科書は、「実践的な学び」を実現できるよう、以下のような工夫をしています。

- 保育・介助・調理・被服などの実習の手順やポイントを、**写真や動画などのビジュアルを用いて詳しく解説し**、実践的なスキルの習得を後押しします。
- 時事問題をテーマにしたワークページ **Active Work** は**アクティブ・ラーニング**に活用できます。課題を発見し解決する能力だけでなく、すぐに答えが出ない問題について考える能力も育めるテーマを選びました。
- インタビュー動画、クイズ、シミュレーション、官公庁へのウェブサイトへのリンク、教科書の内容を補足する資料など、**デジタルコンテンツ**を充実させました。採点結果やワークシートはダウンロードが可能のため、学習管理ツールと併用することで**課題提出や評価**にも活用できます。



▲ 実習の手順やポイントは、写真や動画などでわかりやすく解説



インタビュー動画で実際の人の声を聞くことで、▲ より深い学びを実践できる

▼ Active Work ページには「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」など、さまざまなワークを掲載

### Active Work

#### みんなで支え合う介護～認知症を知ろう～

🔍 認知症や介護が必要な人と幸せに暮らすには？

📌 調べてみよう

📌 話し合ってみよう

📌 やってみよう

📌 介護される人の気持ちを考えてみよう

📌 Cross Study



## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Well-being マップ Well-being 人生すごろく SDGs と家庭科のつながりを考えよう 教科書の使い方 デジタルコンテンツの使い方		口絵 1 - 6 口絵 9 - 11	1
生活の課題を解決して Well-being を実現しよう！	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	口絵 7 - 8	1
生涯の生活設計 1 ①自分の将来をイメージしよう！	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	5 - 10 頁	1
A 編 第 1 章 青年期の自立と家族・家庭 ①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭	11 - 26 頁	5
A 編 第 2 章 子どもの生活と保育 ①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育	27 - 46 頁	9
A 編 第 3 章 高齢期の生活と福祉 ①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉	47 - 58 頁	5
A 編 第 4 章 共生社会と福祉 ①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは  My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5) 共生社会と福祉  A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) (2) (3) (4) (5)	59 - 66 頁  67 頁 68 頁	2
B 編 第 1 章 食生活と健康 ①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康	69 - 124 頁	16

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③衣服の計画・管理を知ろう ④今後の衣生活を考えよう	B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康	125 - 148 頁	10
B編 第3章 住生活と住環境 ①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適・安全に住もう ③持続可能な住まいのために  My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	B 衣食住の生活の自立と設計 (3) 住生活と住環境  B 衣食住の生活の自立と設計 (1) (2) (3)	149 - 168 頁  169 頁 170 頁	5
C編 第1章 消費生活と経済計画 ①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定	171 - 192 頁	10
C編 第2章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②持続可能な消費行動とは  My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境  C 持続可能な消費生活・環境 (1) (2) (3)	193 - 200 頁  201 頁 202 頁	2
生涯の生活設計 2 ① Well-being を実現しよう！	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	203 - 207 頁	1
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの実践例 ・学校家庭クラブ活動の実践例	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	208 - 213 頁	2
食品成分表 食品成分表の見方		214 - 221 頁	
暮らしの中のマーク・ラベル ライフステージと法律		口絵 12 口絵 13 - 14	
		計	70

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-132	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家基 006-901	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容